

試験成績書

製品名 **アテウールF**
仕様 ハントップ

1 試験の内容

アテウールF

についてJIS A 6909『建築用仕上塗材』及び社内製品検査規格に準じて下記に示す項目の試験を行った。

- (1) 低温安定性
- (2) 初期乾燥によるひび割れ抵抗性
- (3) 耐洗浄性
- (4) 付着強さ(標準・浸水後)
- (5) 耐水性
- (6) 耐アルカリ性 A法
- (7) 温冷繰返し
- (8) 透水性 A法
- (9) 耐衝撃性
- (10) 促進耐候性 A法

2 試験体

- (1) 試料

試料の名称及び数量を表-1に示す。

表-1

名称	数量
アテウールF	20kg

- (2) 試験体の作製

試料を用いて、表-2に示す塗装仕様により、表-3に示す下地板を用いて試験板を作製し、試験室(温度:23±2°C、湿度:50±5%)で14日間静置したものを試験板とした。

表-2

工程	使用材料及び配合割合	所要量(kg/m ²)	施工条件	回数	間隔時間
下地調整	セラ水性シーラーHi 15kg 清水 3kg	0.15	ローラー	1	2時間
下吹き	アテウールF 20kg 清水 0.8kg	1.5	器具: 万能カン 口径: 6mm 圧力: 490KPa (5kg/cm ²)	1	4時間
上吹き	アテウールF 20kg 清水 0.8kg	3.0	器具: 万能カン 口径: 6mm 圧力: 390KPa (4kg/cm ²)	1	最終24時間

表-3

試験項目	下地寸法(mm)	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	300×150×4	フレキシブル板
耐洗浄性	430×170×4	フレキシブル板
※ 付着強さ	70×70×20	モルタル板
※ 耐水性	150×50×4	フレキシブル板
※ 耐アルカリ性 A法	150×50×4	フレキシブル板
※ 温冷繰返し	70×70×20	モルタル板
透水性 A法	300×150×4	フレキシブル板
耐衝撃性	300×150×4	フレキシブル板
促進耐候性 A法	150×50×4	フレキシブル板

※:試験体の4側面及び裏面または4側面をエポキシ樹脂塗料で塗り込んだ。

3 試験結果

- (1) 低温安定性・初期乾燥によるひび割れ抵抗性・耐洗浄性・耐水性・耐アルカリ性・温冷繰返し・耐衝撃性

試験項目	試験結果
低温安定性	堅い塊がなく、組成物の分離凝集などの異常は認められなかった。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れの発生は認められなかった。
耐洗浄性	剥れ及び摩耗による下地の露出は認められなかった。
耐水性	割れ、膨れ、剥れ、くもり及び変色等の異常は認められなかった。
耐アルカリ性A法	割れ、膨れ、剥れ、軟化、溶出、くもり及び変色等の異常は認められなかった。
温冷繰返し	割れ、膨れ、剥れ、くもり及び変色等の異常は認められなかった。
耐衝撃性	剥れ、ひび割れ及び著しい変形の異常は認められなかった。

- (2) 付着強さ

(2)-1標準状態

試験体番号	付着強さ(N/mm ²)	付着強さ(kg/cm ²)	破断状態
1	0.81	8.3	試料内凝集破断
2	0.85	8.7	
3	0.87	8.9	
4	0.84	8.6	
5	0.83	8.5	
平均	0.84	8.6	-

(2)-2浸水後

試験体番号	付着強さ(N/mm ²)	付着強さ(kg/cm ²)	破断状態
1	0.74	7.6	試料内凝集破断
2	0.75	7.7	
3	0.69	7.0	
4	0.75	7.7	
5	0.80	8.2	
平均	0.74	7.6	-

- (3) 透水性 A法

試験体番号	透水量(cm)
1	0.10
2	0.10
3	0.10
平均	0.10

- (4) 促進耐候性 A法(キセノンウェザーメーター)

仕上げ	照射時間	試験結果
ノット	3000時間	割れ、膨れ、剥れ、白垂化及び変色の異常は認められなかった。